事前評価チェックシート

計画の名称： 浜松市における住環境の向上（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画との整合性	
I.　目標の妥当性	
「浜松市耐震改修促進計画」の目標を令和12年までに耐震性が不十分な住宅をおおむね解消するとしており整合している。また、「浜松市狭い道路の拡幅整備に関する条例」の目的である「良好な居住環境の確保と災害に強いまちづくり」に即した計画内容としている。	○
I.　目標の妥当性	
アスベスト含有調査事業は、「浜松市総合計画」の「安全・安心な居住環境への誘導」の政策と整合している。	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
I.　目標の妥当性	
今後発生が予想される大規模地震に備えて被害を最小限に抑えるための耐震化を促進する事業として、新たに令和12年の耐震化率をおおむね解消とする目標設定を行った。	○
I.　目標の妥当性	
また、災害時の消防・救急活動に支障をきたさぬよう狭い道路の拡幅整備の目標延長を2.5㎞とするほか、地域住民の健康被害を防ぐことを目的として解体・改修予定のある民間建築物のアスベスト含有調査を令和12年度までに91%実施する目標設定を行った。	○
II.　計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II.　計画の効果・効率性	
住宅の耐震化率の94%からおおむね解消への向上、狭い道路の拡幅整備距離を7.5㎞延長及びアスベスト含有調査の実施率の87%から91%への向上の定量的指標は、安全で安心できる住まい・まちづくりの実現と整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	
II.　計画の効果・効率性	
定量的指標とした市内の住宅の耐震化率、狭い道路の拡幅整備の延長距離及びアスベスト含有調査の実施率は、計画の前後で比較することが容易であり明瞭である。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	
II.　計画の効果・効率性	
建築物の耐震化を促進する事業、狭あい道路の整備を促進する事業及びアスベスト含有調査の実施を促進する事業であるため、計画目標である安全で安心できる住まい・まちづくりの実現と整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
II.　計画の効果・効率性	
住宅・建築物の耐震改修事業、狭あい道路の拡幅整備事業及びアスベスト含有調査事業は防災対策及び健康被害防止対策として相乗効果を有し、より効果的に安全で安心できる住まい・まちづくりを推進できる。	○
III.　計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	

案件番号：0000713059

事　前　評　価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 ・建築物の所有者等に対して、建築物の耐震性の向上推進のため継続的に耐震診断や耐震改修等の重要性について意識啓発に努めている。	○
III. 計画の実現可能性 ・狭あい道路整備等促進事業においては、事前協議書により住民等の意志表示を確認しているため事業実施の確実性は高い。	○
III. 計画の実現可能性 ・未分析建築物の所有者に対して、継続的に民間建築物のアスベスト含有調査の重要性について意識啓発に努めている。	○
III. 計画の実現可能性 ②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
III. 計画の実現可能性 大規模地震の発生が予想される中、地域住民の住宅・建築物の耐震化に対する関心は高く、狭い道路の後退用地の寄附により拡幅整備されることは、災害時の消防・救急活動においても有効であることを理解している。	○
III. 計画の実現可能性 また、アスベスト含有調査は、建築物の解体や改修をする際に必要な調査であり、地域の防災対策及び健康被害防止対策として効果があることを理解している。	○